

みなさまいかがお過ごしでしょうか。

最近「終活」といって自分の死に向けて持ち物の片付けやお葬式・お墓の準備をすることがよく話題になっていきますね。

「後に残された人が困らないように」という思いで始められるようです。昔と違って物が溢れている時代ですから、持っているものも沢山あります。いろいろなものを取捨選択して整理をしたり、自分でないと判断できないようなことを決めておいたりするきっかけになるようです。

しかし、残念ながら、それでお寺にお聴聞に来られる人が増えているように感じられません。元気で動ける方が「終活」なさるからかも知れませんが、いざ自分の死を身近に感じるようになったとき、「死」をどのように捉えるのか「いのち」をどのように捉えるのか分からず、迷い苦しむ人は少なくありません。後に残される人にとっても、逝ってしまった後の方が大切な方であればあるほど見送った後のさみしさや悲しみは大きいものです。「終活」の一つにお聴聞もぜひ加えていただきたいものです。物質的な整理だけでなく、精神的な整理のために。せつかく人として生まれたわたしの「いのち」について考える時間は生きていく間にしか持てません。

行事予定

10



十月十七日

まことと会 急仏奉仕

午後一時半より三時まで

* 申込不曹・となたでもご参加いただけます

* 雑巾を一枚お持ちください

十月十九日

ヨガの会

十月二十五日

光圓寺 報恩講

二十六日

秋季永代経法曹

講師 吉崎哲眞師

今年のお斎の招待は南観音東地区の方々です

よろしくお願いたします

光圓寺 報恩講参りのお知らせ

例年通りに、各ご家庭への報恩講参りを左記の日程で参ります。今後変更の可能性もございますので、各ご家庭へのお知らせにて、再度ご確認ください。

十一月五日

楠那・日宇那地区

十一月十六日

皆実町地区

十一月二十一・二十二日 己斐地区

十一月二十六日

宇品地区

十一月二十七日

南観音中・西地区

十一月二十八日

南観音東地区

十二月八・九・十日

丹那地区

十二月十一日

本浦地区

十二月十二日 大河地区(北大河・旭町)

十二月十六日 大河地区(南大河・山城町)

十二月十七・十八日 打越地区

十二月二十日

吉島地区

新しくお参りをご希望の方はお寺までお問い合わせください。他の地区でもお参り致します。☎(082)231-3400

築地本願寺念仏奉仕

九月二十六日から二十八日にかけて、広陵西組の念仏奉仕団で、東京の築地本願寺、親鸞聖人の北関東御旧跡を参拝する旅行に行つて参りました。光圓寺からは十二名、全体では四

十八名の参加があり、東京の夜はカープの試合を気にしながらも、屋形船で江戸情緒を楽しみ、最終日は修復が終わり、きれいになった日光東照宮も訪れました。

初日の築地本願寺では、昨年まで築地の宗務員であった品龍寺、猪原慶成副住職の取りはからいで、築地本願寺初の念仏奉仕をさせていただきました。現在の築地本願寺の本堂は昭和九年に建てられたもので、大谷光瑞ご門主の命によって、当時の常識を覆す、土足、椅子席の外陣となっている、古代インド様式の建物です。国の重要文化財に指定されています。清掃奉仕の後は、普段入ることの許されないところまで、見学させていただき、京都西本願寺とはまた違ったその荘厳さに一同感銘を受け、最後はパイプオルガンの伴奏により、みんなで恩徳讃を歌いました。



二日目は、板敷山大覚寺、稲田山西念寺という親鸞聖人御旧跡を訪れました。今の地名で言うと茨城県石岡市、笠間市になります。

板敷山 大覚寺



板敷山は、親鸞聖人が、山伏弁円に襲われそうになった法難の地として知られています。弁円は土地の有力な修験者でしたが、稲田の草庵におられる親鸞聖人の教えに人々の心が傾くのを快く思わず、聖人を殺害しようと板敷山で待ち伏せします。しかし、一向に姿を現さない聖人に業を煮やし稲田の草庵を襲います。

ところが、初めて親鸞聖人に会った弁円は、聖人に意外にも温かく迎えられる、たちまちに悪い心が消え、山伏の身分を捨てて、親鸞聖人の弟子になり、明法房という名を与えられます。その辺りのお話は、五木寛之さんの「親鸞」、津本陽さんの「弥陀の橋は」をお読みになるとよくわかりいただけると思います。西念寺には「弁円回心の所」という桜の幹があり、そこには次のような句が詠まれています。

稲田の草庵跡 西念寺



あだとなりし弓矢も今は投げすてて

西に入るさの山の端の月

やまもやま道も昔に変わらねど

変りはてたるわがこころかな